

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
4拍子のリズム打ち ～「春の小川」「茶つみ」に合わせて～	高	音楽 1・2・3年 Ⅱグループ	松本幸香

<ねらい>

4拍子のリズムを理解して、決められたリズムを曲に合わせて友達と一緒に打つことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

タンバリンを使って、異なる4拍子のリズムを二つのグループに分けて練習し、「春の小川」、「茶つみ」に合わせてリズム打ちをした。

実際には、パート別に色分けしてリズムを黒板に書いている。

- ①二つのパートに分かれて練習のグループ練習
- ②二つのパート同時に練習
- ③曲と一緒に合わせて練習、発表（数名ずつ）

以上①～③の流れで、1学期間継続して取り組むことで、教師の見本がなくても黒板に書かれたリズムを見たり、覚えたりして自分たちだけでリズム打ちができるようになる生徒もいた。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・友達と一緒に、呼吸を合わせて打つ力が身についてきた。
- ・繰り返し継続することで、四分音符と四分休符を理解し、打つ時と休む時を意識して打とうとする力が身についてきた。また、曲を変更しても4拍子の歌であれば混乱なくリズム打ちをして、前での発表も積極的に手を挙げるようになった。
- ・曲に合わせて打つことはできるが、同時に歌いながら打つとなるとまだ難しいので、課題は残っている。また、23名という大きな集団でもあるので、一斉に指導するとなると、できる楽器に限られる。

<その他（材料、費用、購入先等）>

タンバリンを使用。

リズム4拍子

